

株式会社WOWOWプラス 番組審議会議事録 (2019年7月18日開催分)

開催年月日： 2019年7月18日(木) 11:00~13:00

開催場所： 株式会社WOWOWプラス 会議室

委員の出席： 番組審議員 6名

WOWOWプラス 8名

出席者

[審議員] 音好宏、草場滋、高寺成紀、富澤一誠、村上典吏子、  
湯浅正敏

(以上 50音順、敬称略)

[放送事業者] 牧野力、郡司誠致、宮澤辰之、松田健吾、青木昭、  
山下泰司、野村憲一、伊藤里沙(記)

議題： (1) 2019年4月~6月の歌謡ポップスチャンネルに対する視聴者からの  
問い合わせや指摘・意見について  
(2) 歌謡ポップスチャンネルの番組内容、編成内容に関する審議

報告事項： 2019年4月~6月における歌謡ポップスチャンネルに対する視聴者からの  
問い合わせや指摘・意見について、当社編成制作局長より、その件数や  
代表的な内容といった概要説明を行った。

審議事項： [審議番組] 西城秀樹 メモリアル・ヒデキ

<番組概要>

2018年5月に突然この世を去った西城秀樹。そんな彼の過去の貴重なニ  
ュース映像からデビュー当時の若き日の姿をピックアップ!

自分の部屋でのインタビュー、女子高前でのキャンペーン、ロックンロ  
ールを熱唱するリハーサル、ファンの集い、後楽園コンサートの模様な  
ど、初々しい秘蔵映像を中心に、親交の深かった音楽評論家・作詞家の  
湯川れい子が独自の視点で、3名の熱烈なファンとともに西城秀樹を語  
りつくす1時間番組。

アイドルの枠を超えて、日本の音楽シーンに多大な影響を与え、「もっ  
ともっともっと評価されるべきスーパースター」だったと湯川さんも絶  
賛。懐かしく、悲しく、切ないエピソードの数々で、日本の歌謡界にロ  
ックを取り入れた先駆者といわれるヒデキを偲びます。

審議内容： ■審議員意見

- ・冒頭のスポニチ映像だけで引き込まれる。ただ、湯川氏といえば「洋楽」のイメージだが、番組自体は「アイドル」としての西城秀樹という切り口がメインなので、それなら当時のファンのエピソードをもう少し聞きたかった。
- ・西城秀樹がアイドルでありながらロックや洋楽の影響を受けてきた部分と、アイドルとして一時代を築いてきた部分という 2 つの切り口をはっきりさせて、構成にメリハリを付けると良かったのではないかな。
- ・湯川氏とファン 3 名が噛み合っていない印象。全員が熱烈なファンというだけでなく、3 名それぞれに違いがあると、湯川氏とも向き合いやすかったと思う。
- ・西城秀樹と歌謡ロックの歴史や時代背景は事実として、ファン 3 名の意見がない。湯川氏の話聞くだけでなく、ファン目線での「いかにヒデキがすごかったか」というトークや、お宝写真・映像などをもう少しバランスよく取り入れられると良かった。
- ・冒頭のスポニチ映像は素晴らしいが、湯川氏の前でファン 3 名が遠慮しているように見える。最初にファン 3 名がスポニチ映像とトークで盛り上がった後、湯川氏が登場しても良かったのではないかな。

■審議員長総評

- ・番組の演出としては、ファンを登場させるのであれば、当時の盛り上がりをもっとストレートに伝えられると良かった。ただ、西城秀樹のアイドル的側面ばかりではなく、氷山モデルで言えば海面下にある西城秀樹という存在を成り立たせている、本質的な部分を掘り起こすことは必要。

-----  
連絡事項： 次回番組審議会は、2019 年 10 月 21 日（月）17：00 開催予定。

以上